

# GDS



## 生体調和義歯の作製ポイントについて 2017

# 10.29【日】

### クラブ総会 特別講演会

(株)岩瀬歯科商会本社・研修ルーム  
〒110-0016 東京都台東区台東 2-23-7

Special Open Seminar

AM10:00～PM16:00



対象  
GDSクラブ会員  
一般(非会員)

**10:00**  
S  
**10:50**

**松本 勝利 先生** **基調講演**

「顎偏位から顎偏移の時代へ」

顎咬合の状態を精密に検査することが可能となった今、正常な顎位とは一体なんであるかをしっかり診査診断することが可能となってきました。顎位が狂うことによって生じる弊害は顎関節部の異常だけでなく、それは下顎骨の上部組織であるいわゆる「頭蓋骨」への荷重に偏移が生じてしまうことである。今回はこれらについてお話しさせていただきますと思う。

**11:00**  
S  
**11:50**

**丸岡 俊夫 先生** **DT 関東 GDS**

「GDS咬合器を利用した咬合平面の修正」

限られた情報のみで義歯製作を行うと咬合平面が残存歯と調和せず審美・機能的に不具合が生じる結果になる事がある。そこで経験や勘、コツに頼らずルールにのっとりた義歯製作が可能な GDS メソッドを活用し、咬合平面の修正に有効な SPFOD や GDS 咬合器の付属アクセサリーを利用して改善した日常の臨床症例を紹介いたします。

**13:00**  
S  
**13:50**

**南 垣碩 先生** **DR 九州 GDS**

「パーシャルデンチャー製作時の咬合再構築について」

全顎的に補綴処理をされた局部床義歯症例を製作するにあたり、歯根の位置関係に異常の無いケースでは、咬合高径の設定について咬合平面の設定を行って治療していく事が重要である。両側性遊離端のケースでは、沈下抵抗の回転軸が一軸となってしまうために把持機構をしっかりと考慮した義歯製作と、顎機能に順応した咬合高径と咬合平面の策定は義歯機能時における義歯動揺を抑えるためにも重要な要件である。今回はこのような面から考えてみたい。

**14:00**  
S  
**14:50**

**黒田 伸二 先生** **DT 関西 GDS**

「デンチャーカラーリング時における留意点と製作時のコツ」

義歯製作は身体の機能回復を目的として行われていることから、適合精度や咬合機能回復が優先されてきましたが、昨今ではワンランク上の義歯製作を望まれる機会が増加してきています。今回は全部床義歯でも局部床義歯製作時にも適応できるデンチャーカラーリングシステムを、解剖学的観点より歯肉部色調の再現に必要な色調透過性などを加味して整理しながらお伝えできればと考えています。

**15:00**  
S  
**15:50**

**森 和憲 先生** **DT 北海道 GDS**

「義歯研磨面と口腔諸筋群との調和について」

全部床義歯の構成要素として、最大の面積を誇る義歯研磨面は、義歯の維持安定への重要な要素であるとともに、快適性を最大限向上させるためにとても重要な役割を担う。口腔諸筋群の機能を考慮した形態を再現するために必要な解剖学的考察と、機能的、審美的な口腔諸筋群への調和を考慮した義歯研磨面形態の実際について解説します。

**受講料**

GDSクラブ会員 ¥6,480  
クラブ会員勤務スタッフ ¥2,160  
一般(非会員) ¥12,960

昼食代含む  
税込価格です。

GDSクラブへの入会は  
ホームページより  
お手続きができます!

**GDSクラブ**  
<http://www.gds.or.jp/>

<h3>Time Table</h3>	10/28 15:00～18:00 GDSクラブ理事会
	10/29 8:30～9:00 GDSクラブ総会
	10:00～16:00 GDSクラブ創立10周年記念講演会 (受付開始は9:30となります。)

ホームページ&facebookにて  
GDSの最新情報を更新中!

Global Dental Systemクラブ  
<https://www.facebook.com/GDSclub>

## GDS クラブ総会 特別講演会 参加申し込み

ご芳名

GDSクラブ会員  クラブ会員勤務スタッフ  一般(非会員)

歯科医院名  
歯科技工所名

GDSクラブ総会も同時申込する

ご住所 〒

TEL FAX

e-mail

\*お申込み受付のご連絡をさせていただきますので、FAXもしくはe-mailアドレスのご記入をお願い致します。  
\*受講料のお振込み確認をもって正式なお申込みとなりますので予めご了承ください。